

はつかいち

市民児協だより

No.43

令和6年8月

編集／発行

廿日市市民生委員
児童委員協議会



令和6年4月26日に開催した総会の様子



やりがいを伝えよう

廿日市市民生委員児童委員協議会

会長 堀 尚美

民生委員児童委員の担い手不足を解消するため、厚労省は委員の選任要件を緩和する方向（担当している市町村に住んでいる人に限定している要件を、通勤で訪れる人やかつて住んでいて転出した人にも広げることを想定）で検討を進めています。同じ地域に住む住民だからその些細な気づきや関わりを大切に、またそこが私たちの強みだと自分を励ましながらか活動してきたこれまでの思うと「それでいいの？」と個人的には複雑な思いです。今後の動きを注視していきたいと思っています。

今年4月から導入された「民生委員児童委員協力員制度」各地区で少しずつ協力員の配置手続きが進んでいます。委員の皆さん、各自の状況に合わせ、積極的にご活用ください。協力員さんの配置により、地域の方への必要な支援や見守りが無理なく行き届くとともに、委員の皆さんの負担の軽減が図れることを期待しているところです。

現任委員の私たちが日々笑顔で活動し、地域の皆さんに「負担感よりもやりがいの方が大きいよ」と心から伝えることができれば、新たな担い手のすそ野も広がるものと信じています。日々の民生委員児童委員活動に多くの喜びを感じることができ、地域の方にやりがいや魅力をたくさん発信していただけることを願います。

香川裕光さんの

講演を拝聴して

佐伯地区

松井 辰夫



これ程、世間知らずの自分を腹立たしく感じた事は無かった。民児協の全委員研修がシンガーソングライターの方の講演ということに多少の違和感を持った事も事実だ。

ところがです。香川さんの言葉及び言動には、身を持って体験された行動だからこそ、私の心に響いた事になんら違和感をもたない一時だった。

聞けば、幼少期から音楽に興味を持たれ、歌うことが好きだったとのこと。感じるままの気持ちを、見事、歌詞に残された詩だからこそ、メロディーにも生かされ、聴く人の心に残るのだと感じた。映画の挿入歌で、あの森山直太朗さんとの競争に軍配が上がった結果にも納得できた。

施設での身を持った体験とユーモアのある物言いは、職場での対応に適合されているのだろう。又、詩の内容にもそれが反映されていると思う。



かつて私の母が地元の特養施設に入所していたが、新型コロナ以前だったので面会等も可能であった。所内での職員の動向を見る機会があつたが、大変な重労働と当時感じた。今後はきっと、ロボット等により、職員の負担も軽減されるのではと思つたものである。

翌月の定例会において、早速、香川さんの講演の話をさせてもらったのも、久し振りに感動したからである。こんな有能ですばらしい方が廿日市市出身ということに、誇らしい気持ちでいっぱいである。

廿日市市民生委員児童委員協力員制度が始まりました

■協力員とは

民生委員児童委員のサポーターとして、民生委員児童委員が行っている見守り活動や地域活動の補助を行うボランティアです。

■どんな活動を行うの？

地域の実情に応じて、次のような活動を行います。○

①見守りや声かけ

一人暮らし高齢者など、見守りが必要な方に対し、家庭訪問や定期的な声かけなどを行います。（訪問は、民生委員児童委員に同行したり、単独するなど、状況に応じて行います。）

②民生委員児童委員への取り次ぎ

訪問先などで相談を受けた場合には、民生委員児童委員に取り次ぎます。

③地区民生委員児童委員協議会の活動への協力

地区民生委員児童委員協議会（以下「地区民児協」と表記。）が主催するサロンなどの運営等に協力します。

活動内容は、サポートする民生委員児童委員と話し合っていていきます。

肢体障がい者(車いす)
に関する研修

障がい者福祉部会
部会長 石田 洋一

5月14日山崎本社みんなのあいプラザにおいて、肢体障がい者(車椅子)のテーマで全委員研修を行いました。

研修会は、部会が行動理念と掲げる「障がい者への理解・支援・協働」の下に、講師に廿日市市障害者団体連絡会の駒坂敦さん・秋保和徳さんを迎えました。

駒坂さんの講演では、駒坂さんの娘さんのお話を聞かせてくださいました。娘さんは14歳の時に病がきっかけで医療的ケアが必要な重度障がいになったとのこと。家族や地域の方々との連携した闘病生活や介護等々を拝聴していて、言葉では上手く言い表せない胸の痛みを感じました。

秋保さんは障がいのある方で、マイク操作してのお話でしたが、すごく多彩な趣味を熟し人生をエンジョイされ、逞しい人生を過ごされてる様子が感じられました。



研修の後半では、市社会福祉協議会に、車いす体験を指導していただき、会場の参加者が、実際に車いすを操作してみました。平坦な所は良いが、段差や急傾斜では難しいと不安も広がり、実生活環境の中では大変厳しいなと実感しました。

研修会に参加された皆さんは、今後の民生委員児童委員活動において、意味あるキーワードに恵まれた研修であったと思います。



はつかいち桜まつりに
ミンジーとして参加

宮園・四季が丘地区
小川 公子

令和6年4月7日ははつかいち桜まつりは、新型コロナでの制限のない5年ぶりの開催。お天気も快晴、住吉堤防の桜は正に満開の絶妙なタイミングであった。朝からたくさんの方々が集まって大盛況。多くの人々の明るい笑顔に、コロナ自粛が人々の心にも大きな影響を与えていたのだと感ずる。

委嘱を受けて2年目の新米民生委員児童委員として初の桜まつりへの参加は、広島県民協協マスコットキャラクターのミンジーとして参加できるとあって思わず立候補した。昨秋の四季が丘市民センター祭りに四季が丘地区民協として出展し、ミンジーぬり絵コーナーを設けた際も子どもたちの関心は高かった。ぬり絵がヒットしたのか、ペンギンチックなキャラクターのミンジー(絵)が受けたのか?子どもたちは、ミンジーって何?と言いながらも一生懸命にミンジーぬり絵に没頭していた。

人生初のマスコットキャラクタールーミンジーとなって桜まつりへの参加は、楽しく興味深いものであった。行き交う人々の目を引き、子どもたちを惹きつけ、予想通り

実物ミンジーは可愛いく癒されるフォルムで親しみやすさ抜群、大人気であったと思う。ミンジーとの啓発チラシやポケットティッシュの配布は、警戒心を解き、好意的に受け入れられていたように思う。マスコットキャラクタールーミンジーは民協協の啓発活動を効果的に広めると実感する。

民生委員児童委員としての日々の様々な活動も、ミンジーのように親しみと安心感を持って受け入れられるようでありたい。



地区活動の紹介

東広島への視察研修に
参加して

廿日市中央地区

小橋 貢



2月28日(ゆ)廿日市中央地区民児協の研修で、平成30年7月西日本豪雨時の被災地である東広島市高屋町宮領地区の視察及び東広島市社会福祉協議会を訪問しました。

同地区の自治会長であり、民生委員児童委員でもある木村一彦さんより、「豪雨災害の教訓」についてご説明をいただきました。木村さんは発災直後から被災者であるにも関わらず、独居高齢者の安否確認をされたとのことでした。同地区の被害は主に土石流による土砂災害で、まだまだ手付かずの所もありました。特に印象に残ったのは「自分は今まで大災害にあつたことはない」「自分だけは大丈夫」との意識をお持ちの方がほとんどであり、また災害後の反応の多くが「まさかこの地区で」と途方に暮れたと話された点でした。廿日市市においても土砂災害の

みならず、大雨などによる浸水または地震などの災害が発生しないとも限りません。

「自助」「協助」「公助」のうち、我々民生委員児童委員が担うべきは「協助」の部分ではありますが、その為にはまず「自助」の備え、避難経路・避難所の確認、そして避難指示発生時に速やかに行動を起こし、自らの守りを固めておくことの重要性を今回の視察により再確認しました。



「第18回あじさいのつどい」開催

宮内・地御前地区

柿崎 千恵子



宮内地区では、6月16日に毎年恒例の「あじさいのつどい」を開催しました。あじさいがちょうど見ごろのこの時期に、民生委員児童委員が花木を持ち寄り、会場の宮内市民センターを色とりどりのあじさいで華やかに飾り付けます。

内容は、若い世代のエネルギーシユな「ロックソール」に始まり、オカリナ演奏、ピアノトリオ、南国ムードいっぱいフラダンスなど、バラエティに富んだプログラムで構成され、和やかな時間となりました。また、フラダンス「バラが咲いた」の曲目では、振り付けのレクチャーもあり、会場一体で優雅に楽しく踊ることもできました。

終了後は、飾っているあじさいを持ち帰ることもでき、来場者は思い思いに花束にして持ち帰っていました。

おかげさまで、毎年楽しみにされている方もおられ、近隣のグループホームからもご来場くださ

いました。梅雨の蒸し暑いこの時期、華やかなあじさいや、演奏や演技に触れて、ほっとした一時を過ごしていただけたら幸いです。この機会を通じ、これからも多くの方との出会いやつながりを大切にしていきたいと思います。



広島市豪雨災害
伝承館を訪問して

大野東地区

廣田

令子

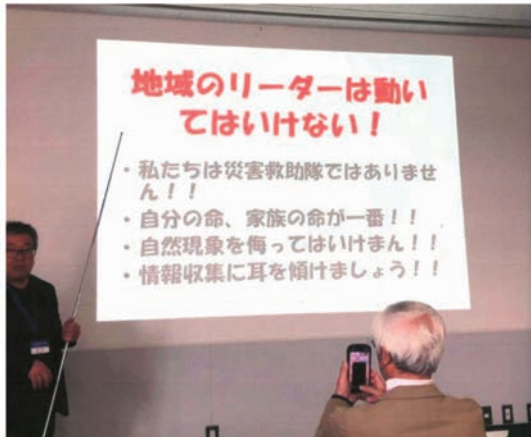


平成26年8月20日未明の安佐南区の豪雨は、死者77名、住宅・橋など1079件の物的被害をもたらしました。この災害を語り継ぎ防災の思いを繋ぎたい：（リーフレットより）

館長の畠堀さんは、民生委員児童委員でもあり、その視点からお話してくださいました。畠堀さん自身も被災しつつ、自分の担当で安否が気になった方が2名おられたとのこと。1名は車いすの方だった若い人が一緒に2階に避難して無事。もう1名は一人暮らしだったが、地域の方が一緒に避難所へ行っていて無事。いち早く気づいた人が気を配ってくれたとおっしゃっていました。

また、後日被災した畠堀さんの家に女性のボランティアが来られたが、トイレは遠い避難所のみで困っているときに、近所の人が貸してくださり、助かったそうです。

普段から「お互い様」の付き合い



いがあつたからこそこのような助け合いができたとも話しておられました。また、町内会に入っていない人こそ民生委員児童委員が支援していき、家族・行政・民生委員児童委員・社協（自主防災）等で地域のネットワークを作り、地域で子どもを育てることの大切さも話されていました。

私たちの地域でも、普段から気軽に挨拶や会話ができ、「お互い様」の付き合いができるようになると思います。そうすることが「安全」「安心」にも繋がるのではないのでしょうか。

災害に備える民生委員・児童委員活動10か条

1. 自分自身と家族の安全を最優先に考える
2. 無理のない活動を心がける
3. 地域住民や地域の団体とつながり、協働して取り組む
4. 災害時の活動は日頃の委員活動の延長線上にあることを意識する
5. 民児協の方針を組織として決めておく
6. 名簿の保管方法、情報共有のあり方を決めておく
7. 行政と協議し、情報共有のあり方を決めておく
8. 支援が必要な人に、支援が届くように配慮する
9. 孤立を防ぎ、地域の再構築を働きかける
10. 民生委員同士の支え合い、民児協による委員支援を重視する

丸石保育園園庭開放
に参加して

大野西地区

砂原

宏幸



丸石保育園では、毎月第3木曜日に園庭開放があり、民生委員児童委員が子ども達の活動を見守りサポートしています。

私は、得意なけん玉で子ども達と遊びます。6月は、年長さんとけん玉遊びをしました。最初に私がけん玉の技を披露し、次にみんなでけん玉を体験します。決して難しい技はやりません。小さな子どもでも楽しくできることをやります。お皿に乗せた玉を少し持ち上げて落とす『落とし玉』、床に置いた玉の上にけん玉を乗せる『口ケツト』。『できたー』と歓声を上げる子ども達。横にして置いたけん玉を玉の穴ですくう『ドジョウすくい』、少し離れた所にけん玉を立て玉を転がして倒す『けん玉ボーリング』等、子ども達は夢中になって遊びます。「また来てねー」と言って笑顔で手を振ってくれました。

また、入園前の幼児とお母さん方にも喜んでいただきました。今後けん玉を通して子ども達とふれあっていきたいと思います。





シロダモ(赤い実)

キミノシロダモ(黄色い実)

【写真キミノシロダモについて】

クスノキ科のシロダモは果実が熟すると赤くなるが、突然変異によって果実が黄色になった品種が「キミノシロダモ」である。この和名を名付けたのが、朝ドラでおなじみの植物学者牧野富太郎博士である。

キミノシロダモは常緑の高木で葉の裏が白く、本州・四国・九州に分布する。広島県では唯一宮島で生育が確認されているが、極めて少なく、数本にとどまる。果実の色以外はシロダモと同じであるため、果実がなければ見分けがつかない。晩秋から冬に花が咲き、1年かけて果実が熟するため、花と果実が同時に見られる不思議な植物でもある。

赤い果実のシロダモは珍しいものではなく、冬であればすぐに見つけられるが、希少な黄色い果実のキミノシロダモはなかなか見つけれない。皆さん冬の宮島に行き、「しあわせの黄色い実」を見つけてみませんか。

宮園・四季が丘地区 河野進 (2024.2.17 宮島入浜で撮影)

新たな仲間を紹介します！



服部 修
(阿品・阿品台地区)
障がい者福祉部会

令和6年4月1日委嘱



田村 久美子
(大野東地区)
児童家庭福祉部会

令和6年5月24日委嘱

はつかいち

市民見協だより

廿日市市民生委員
児童委員協議会事務局
(廿日市市役所健康福祉総務課)

〒738-8512
廿日市市新宮一丁目13-1
TEL 0829 (30) 9151
FAX 0829 (20) 1611

編集後記

私の住んでいる地域から車で一時間走らせ広報委員会へ参加する。「こんにちは。」「元気でしたか。」と挨拶を交わし、みなさんの笑顔にほっとする。広報委員会の活動は、民見協だよりの原稿を依頼し、話し合って紙面構成すること。

他の委員からは「遠いので、オンラインでの参加でも良いですよ。」と氣遣ってくださるが、直接、声を聞き、顔を合わせることで、色々な考えに触れ、新たに気付かされることが多く、刺激を得ることができるので、直接出席したいと思っている。

また、民生委員の活動で、高齢者訪問も良い刺激となっており、たわいもない会話で顔を合わせ「それじゃーまた来ますね。何かあったら言ってくださいね。」「あなたも気を付けんさいよ。」と笑顔で声を掛け合う。私も気がつけば高齢者。
住み慣れた地域で、山や田畑に囲まれ、お互い気遣い支え合いながら、日々過ごしている。

④



再生紙を使用しています。